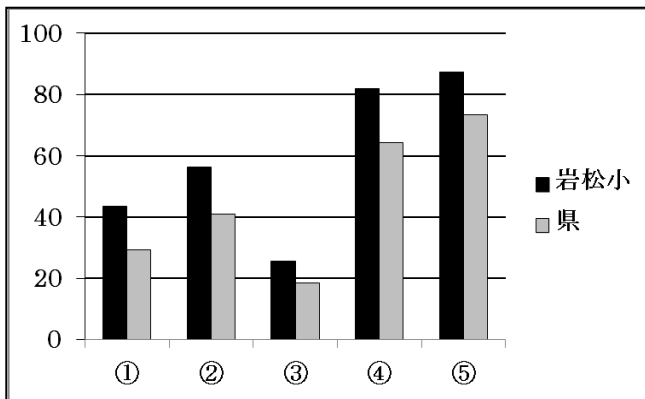


## 6年 全国学力・学習状況調査結果及び分析、今後の取組について

### ◆6年 質問紙から

【県の割合と比べて数値が特に高かった項目】

調 査 の 項 目	
①	図書館利用の割合
②	授業以外で読書をする割合（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）
③	新聞を読む割合
④	授業以外で、勉強をする割合（学習塾、家庭教師も含む）
⑤	家で、自分で計画を立てて勉強をする割合

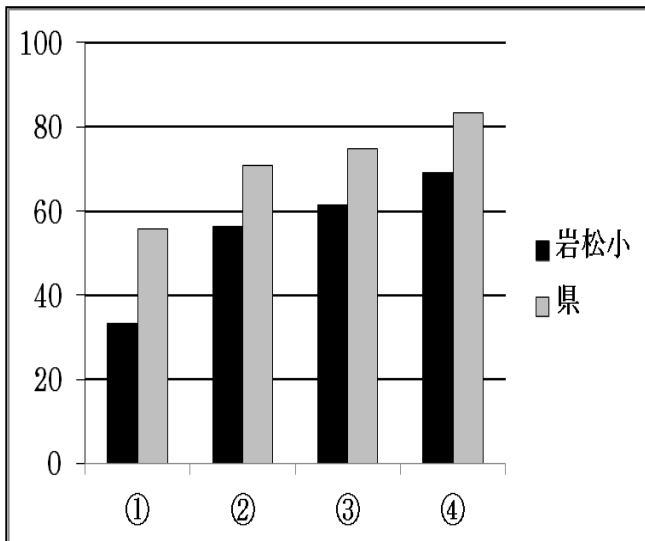


#### 分析と取組

- ①②③については、児童が自ら文章に触れようとする意識が高く、それが国語の読む力に生かされつつあると捉えられる。今後も、その姿勢を奨励し、取組のさらなる定着をめざす。
- ④⑤については、学校以外での学習に意欲的であると捉えられる。日頃から、家庭学習の定着を図り、実行しようという意識があるため、今後もその姿を認めていく。

【県の割合と比べて数値が特に低かった項目】

調 査 の 項 目	
①	授業でICTを使用する割合
②	国語の授業で、話や文章の組立を工夫しながら自分の考えを話したり考えたりしていると思う割合
③	学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思う割合
④	授業で学んだことを他の学習に生かしていると思う割合



#### 分析と取組

- ①については、学習でPCを使用することはあるが、児童自身が活用する機会が少ない。今後は、PCを使用する機会を増やしていくよう、教育課程の見直しをしていく。
- ②については、授業の中で、一人調べやグループで学ぶ場を多く設け、自他の考えを生かして工夫できるようにしていく。
- ③については、学級活動の年間計画を見直し、学級会の充実に努めていく。
- ④については、各教科において横断的な指導を意識して行っていく。

## ◆6年 国語

### 【全体の概要】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・6年国語の正答率は、県の平均を大きく上回った。</li> <li>・県と比べて、特に数値が高かった観点は「話す・聞く能力」であった。</li> <li>・県と比べて、少し数値が低かった観点は「国語への関心・意欲・態度」であった。</li> </ul>
---

### 【県と比べて正答率が特に低かった問題】

①	<p>【書く】の「目的や意図に応じて、自分の考えの理由を明確にし、まとめて書く」問題</p>
分析と取組	<p>《誤答傾向や、そこから見える児童の課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・並列（～たり～たり）の記述が正しくできていない。</li> <li>・題意に対応した記述ができていない。</li> </ul>
	<p>《改善に向けた取組》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 記述力の向上をめざす。聞いたことや読んだことを、時数制限を課して要約させる。</li> <li>(2) 繰り返りの充実を図る。書いたものを比較させたり、整合性を確認させたりする。観点や条件を与え、相互分析させる。</li> </ol>
②	<p>【読む】の「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読み、条件に合わせて書く」問題</p>
分析と取組	<p>《誤答傾向や、そこから見える児童の課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・並列（～したことや～したこと）の記述が正しくできていない。</li> <li>・題意に対応した記述ができていない。</li> <li>・文意が変わらないよう、言葉を置き換えて記述することができていない。</li> <li>・無解答が多い。</li> </ul>
	<p>《改善に向けた取組》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) ①の取組と同じ。</li> <li>(2) 全解答の意識を向上させる。日頃から、時間内に終わらせることの重要性を説き、「作業は速く丁寧に」「時計を見る癖をつける」「全解答欄をまず埋める」等の指導を粘り強く行う。</li> </ol>
③	<p>「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使う」問題 【言語】の「ことわざの意味を理解して、自分の表現に用いる」問題</p>
分析と取組	<p>《誤答傾向や、そこから見える児童の課題》</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「かんしんをもつ」の漢字を、「感心をもつ」と表記した児童が半数以上いる。</li> <li>・ことわざ「習うより慣れよ」の例文として、四択の中から「一生懸命頑張ったから、あれこれ考えず気長に結果を待とう。習うより慣れよだ。」を選んだ児童が多い。</li> <li>・漢字やことわざの意味を生活事象と重ねる経験が不足している。</li> </ul>
	<p>《改善に向けた取組》</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 言葉やことわざの意味理解を進める。積極的に辞書を活用させて知識量を増やすとともに、例文づくりまで取り組ませるようにする。</li> <li>(2) 一つの漢字について、音読みと訓読みで読ませるテストを実施する。</li> </ol>

## ◆6年 算数

### 【全体の概要】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・6年算数の正答率は、県平均と同じであった。</li> <li>・県と比べて、少し数値が高かった観点は「数学的な考え方」であった。</li> <li>・県と比べて、少し数値が低かった観点は「数量や図形についての技能」であった。</li> </ul>
---

### 【県と比べて正答率が特に低かった問題】

①	【技能】の「洗顔と歯みがきで使う水の量を求めるために、 $6+0.5\times 2$ を計算する」問題
分析 と 取組	《誤答傾向や、そこから見える児童の課題》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・四則の順序を間違え、左から順に計算している。</li> <li>・<math>6+0.5</math> を 11 または 1.1 と計算している。位をそろえていない。</li> <li>・計算のきまりを理解していない。</li> </ul>
	《改善に向けた取組》 <p>(1) 朝の算数タイムや授業の始めに、繰り返し反復練習を行わせる。</p>
②	【知識・理解】の「 $1800\div 6$ は、何m分の代金を求めている式といえるのかを選ぶ」問題
分析 と 取組	《誤答傾向や、そこから見える児童の課題》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・除数と被除数がともに 10 倍されているので商も 10 倍になると考えてしまっている。</li> <li>・式の意味を理解していない。</li> <li>・問題を読み取ることができていない。</li> </ul>
	《改善に向けた取組》 <p>(1) 問題の意味を確認しながら文章題に取り組ませる。</p>
③	【考え方】の「 $350-97$ について、引く数の 97 を 100 にした式にして計算するとき、ふさわしい数値の組み合わせを書く」問題
分析 と 取組	《誤答傾向や、そこから見える児童の課題》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・減数と被減数に同じ数を加えれば差が同じになることを理解できていない。</li> <li>・例をもとに、解を導き出す思考が十分に育っていない。</li> </ul>
	《改善に向けた取組》 <p>(1) 筆算に頼らず、工夫して計算するよさに気付けるよう、類題に繰り返し取り組ませる。</p>

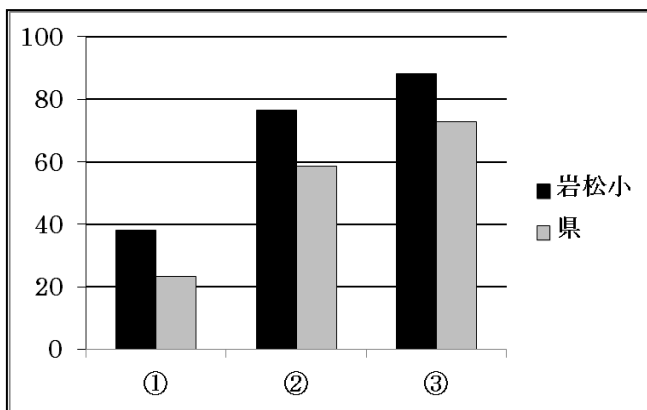
平成31年度4月実施

## 5年 佐賀県学習状況調査結果及び分析、今後の取組について

### ◆5年 意識調査から

【県の割合と比べて数値が高かった項目】

調 査 の 項 目	
①	平日にゲームを全くしない割合
②	平日に家庭学習を1時間以上する割合
③	今住んでいる地域の行事に参加している割合

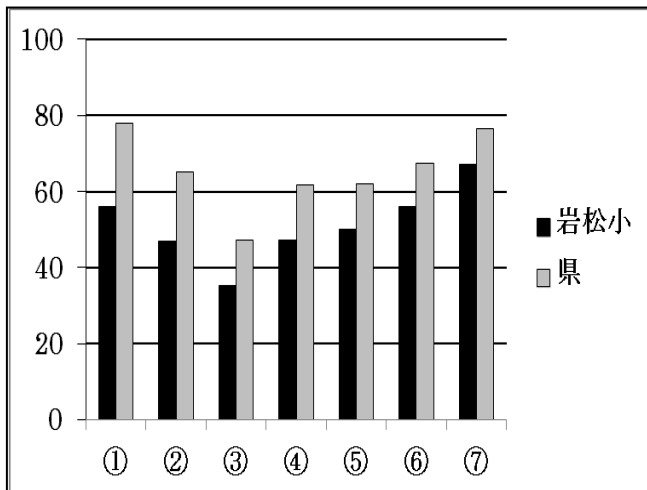


#### 分析と取組

- ①については、本校は「平日ゲーム禁止」をきまりとしているため、38%の実施率では不十分である。全校集会や学級懇談、学校通信等で周知徹底を図っていく。
- ②については、「家学がんばり週間」の実施や「家庭学習の手引き・自主学習のポイント」の配布等により、ある程度の割合で習慣化ができつつある。さらに、「提出だけでなくやり直しまで徹底させる」「授業内容を自分なりにまとめさせる」「自主学習ノートの内容と質の向上をめざす」等の強化を図り、学力向上につなげていく。

【県の割合と比べて数値が低かった項目】

調 査 の 項 目	
①	授業の最後に学習内容を振り返る活動を行っている割合
②	国語の授業で発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している割合
③	友達の前で自分の考えや意見を発表することが得意だと思う割合
④	平日に午後10時前に就寝する割合
⑤	苦手な教科の勉強をしている割合
⑥	算数の勉強が好きだと思う割合
⑦	平日に携帯電話やスマートフォンで通話・メール・インターネットをする時間が1時間未満の割合



#### 分析と取組

- ①については、授業終わりの「ふり返り」を全学年でしっかりと行っていく。「今日の授業で何が分かったのか、分からなかったことは何か」を明確にする時間とする。
- ②③については、ペアやグループでの学び合いの場をさらに増やすとともに、発表に消極的な児童への励ましや発言時の称賛を心がける。児童の自信につながる言葉かけを粘り強く続けていくことで発表意欲を喚起する。
- ④⑦については、家庭との連携が不可欠であり、「学力と生活習慣の相関」「生活習慣とスマホ使用の相関」について、学校便り等で周知する。児童の生活習慣改善に向け、学校だけでなく育友会や青少年健全育成会からの啓発も要請していく。

## ◆5年 国語

### 【全体の概要】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・5年国語の正答率は、県の平均を大きく下回った。</li> <li>・県と比べて、同程度の数値だった観点は「言語」であった。</li> <li>・県と比べて、特に数値が低かった観点は「読む」であった。</li> </ul>
--

### 【県と比べて正答率が特に低かった問題】

①	【読む】の「叙述を基に、登場人物の気持ちの変化を捉え、条件に合わせて書く」問題
分析と取組	《誤答傾向や、そこから見える児童の課題》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・無解答が多い。</li> <li>・条件に合わせて書いていない。</li> <li>・主語と述語の対象人物が合っていない。</li> </ul>
	《改善に向けた取組》 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 「思考の途中経過でも書いていく」という指導を行う。書きながら自分の思考を整理することを日頃から習慣づける。</li> <li>(2) 条件作文を書かせる機会を増やす。自分が書いた文章が、指示された条件に合っているか十分確認する癖をつけさせる。</li> </ol>

②	【話す・聞く】の「理由を明確にして、話す内容を構成し、条件に合わせて話す（書く）」問題
分析と取組	《誤答傾向や、そこから見える児童の課題》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・条件に合わせて話していない（書いていない）。指示された文数や表現になっていない。</li> <li>・問題文を注意深く読んでいない。</li> <li>・何を問われているのか理解していない。</li> </ul>
	《改善に向けた取組》 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) ①の(2)の取組と同じ。</li> <li>(2) 文数を意識して話したり書いたりする練習が必要。「3文スピーチ」「2文ふり返り」などを行う。</li> <li>(3) 問題文をよく読み、何を問われている問題なのかを確認する癖をつけさせる。</li> </ol>

③	【書く】の「間違いを正したり、よりよい表現に書き直したりする」問題
分析と取組	《誤答傾向や、そこから見える児童の課題》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・何を問われているのか理解していない。</li> <li>・設問の一部の言葉しか読まずに答えている。</li> <li>・どの部分を書き直すのか着目できていない。</li> </ul>
	《改善に向けた取組》 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) ②の(3)の取組と同じ。</li> <li>(2) 常体や敬体の文末表現について再指導する。</li> </ol>

## ◆5年 算数

### 【全体の概要】

- ・5年算数の正答率は、県平均を大きく下回った。
- ・県と比べて、数値が高かった観点はなかった。
- ・県と比べて、特に数値が低かった観点は「技能」であった。

### 【県と比べて正答率が特に低かった問題】

1	【技能】の「 $m^2$ で表された面積を $cm^2$ で表す」問題
分析と取組	《誤答傾向や、そこから見える児童の課題》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ <math>1 m^2 = 100 cm^2</math>と解答した児童が7割近くもいる。</li> <li>・ 問題図に書かれている <math>1 m = 100 cm</math>を見て、短絡的に <math>1 m^2 = 100 cm^2</math>と解答している。</li> </ul>
	《改善に向けた取組》 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 問題文をよく読み、キーワードや大事な部分に印やラインを入れていくようにさせる。</li> <li>(2) 図にかき込みをさせるようにする。</li> <li>(3) 既習事項を掲示しておく。</li> </ol>
2	【考え方】の「示された情報を基に、運動会で白組が優勝できる理由を、具体的な根拠を挙げて説明する」問題
分析と取組	《誤答傾向や、そこから見える児童の課題》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 何を説明すればよいのか理解できていない。</li> <li>・ 指示されたキーワードを使わずに説明している。</li> </ul>
	《改善に向けた取組》 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 1の(1)の取組と同じ。</li> <li>(2) 算数ことばを使って相手に分かるように説明を書く練習をたくさんさせる。</li> </ol>
3	【技能】の「折れ線グラフの変化の様子を読み取る」問題
分析と取組	《誤答傾向や、そこから見える児童の課題》 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問題文が理解できていない。</li> <li>・ グラフの読み取りができていない。</li> </ul>
	《改善に向けた取組》 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1) 1の(1)の取組と同じ。</li> <li>(2) グラフにかき込みをさせるようにする。</li> </ol>